



平成 23 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 伊 予 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 森 田 浩 治
(コード番号 8385 東証、大証各第 1 部)
問 合 せ 先 総 合 企 画 部 長 平 野 志 郎
(TEL. 089-941-1141)

証券子会社の設立に関するお知らせ

株式会社伊予銀行（頭取 森田浩治）は、本日開催の取締役会において、関係当局の認可等を前提に、100%出資による証券子会社の設立を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 新設する証券子会社の概要

会社名	いよぎん証券株式会社
本店所在地	愛媛県松山市
資本金	30 億円
出資比率	伊予銀行 100%
決算期	3 月
開業予定日	平成 24 年 10 月

2. 証券子会社設立の目的

伊予銀行グループは、伊予銀行、連結子会社 10 社で構成し、銀行業務を中心にリース業務やカード業務等の金融サービスに係る事業を行い、お客さまへの総合的な金融サービスのご提供に努めております。

証券業務につきましても、平成 10 年に投資信託窓販業務を開始したほか、平成 17 年には金融商品仲介業務の取扱いを開始するなど、順次業務を拡大してまいりました。

お客さまのニーズがますます多様化・高度化するなか、グループが一体となって、これまで以上の証券サービスをご提供したいとの思いから、このたび四国の地方銀行としては初めて証券子会社を設立することといたしました。その主な目的は以下のとおりです。

(1) 多様化・高度化するお客さまニーズへの対応

低金利環境の長期化により、高収益の運用商品をはじめとしてお客さまのニーズは多様化・高度化しております。

このため、当行の本支店内に共同店舗を設置し、銀行では取り扱うことができなかった証券会社ならではの専門性の高いサービスをワンストップでご提供します。あわせて、証券業務を通じて、高度な金融商品・情報・サービスに関するノウハウを持った人材を育成し、いよぎん証券と当行との間で適切な人事交流を行うことで、グループ全体の証券営業のレベルアップを図ります。

これらによって、これまで以上にお客さまのニーズにお応えし、お客さま満足度の向上を目指します。

なお、当行においては、引き続き投資信託窓口販売や金融商品仲介業務の強化に取り組んでまいります。

(2) リテールビジネスの拡大による総合金融機関としての価値向上

証券子会社の「いよぎん証券」は、伊予銀行の全額出資子会社とし、地域の皆さまから伊予銀行にいただいておりますご信頼をベースに、お客さまのニーズに広く、深くお応えし、伊予銀行グループの戦略に沿った、身近で親切なサービスをご提供します。

こうしたいよぎん証券によるリテールビジネスの拡大によって、当行は、地域や株主の皆さまに対しまして、これまで以上に総合金融機関としての価値向上を図ってまいります。

3. 主な業務内容

いよぎん証券では、主に当行とお取引のあるお客さまに対して、株式や債券等の専門性の高い証券サービスをご提供します。

当行といよぎん証券が適切に連携し、当行が愛媛県内に構築している店舗網を活用してお客さまニーズの把握に努め、グループが一体となって、お客さまの資産形成や資産運用のお手伝いをいたします。

4. 今後の予定

本日付で総合企画部内に「いよぎん証券開設準備室」を設置し、関係当局への認可申請等の手続きを行い、平成 24 年 10 月の開業を目指して準備を進めてまいります。

5. 業績への影響

証券子会社が平成 24 年 3 月期の当行連結業績に与える影響は、軽微であると予想しております。

本件に関する担当者 総合企画部 徳永 T E L 089-941-1141
